

在セネガル日本国大使館月報

2021年3月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 3日、COVAX ファシリティを通じて供与されたアストラゼネカ製ワクチン 342,000 本の授与式が行われた。(4日 Le Soleil)
- 3日、ソンコ Pastef(野党)党首が、無許可でデモを行い公共の秩序を乱した罪で逮捕された。同日、ダカール市内及び地方においてデモが発生し、一部参加者と治安当局との衝突、政府機関、報道機関、仏系スーパーやガソリンスタンドへの襲撃や放火などに発展した。(3～5日 RFI)
- 8日、サル大統領が国民向けに演説を行い、夜間外出禁止令時間帯の短縮、デモの犠牲者の家族及び負傷者への補償、若者支援のための予算再分配などの約束を表明し、デモで暴力行為を行なっている若者に鎮静化を呼びかけた。(9日 Le Soleil)

(外政)

- 14日夜、ガンビアのサンヤンでセネガル人がガンビア人を殺害したことが原因でデモが発生し、交番や、同地域在住のセネガル人所有の住居、商店、船などへの放火・襲撃に発展。280名の同地域在住のセネガル人が他地域に避難した。(16日 Sud Quotidien)

(経済)

- アフリカ開発銀行によると、セネガルの推定経済成長率は、コロナの状況が制御された場合、2021年に5.1%、2022年に6.0%に達する。実質 GDP は、観光業・運輸業・商業などの縮小および、国外需要や投資の減少により、2019年のプラス成長(5.3%)から2020年は0.7%のマイナス成長に転じた。(13日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 11日、新井大使とカルバリョ駐セネガル・カーボベルデ大使との間で、対カーボベルデ債務救済措置に関する署名が行われた。(11日 Infopress)
- 19日、ネーヴェス前首相が、次期大統領選挙への出馬を表明した。(19日 Anacao)

ガンビア

- EU はガンビアを、EU からの移民の強制送還に非協力的な国であるとして、今夏までに状況が改善されなければ査証の値上げを含む制裁を課すと発表した。(30日 The Point)

ギニアビサウ

- 日本は UNDP が実施するギニアビサウの平和維持のための強靱な制度構築計画を支援するべく、249万ドルを供与する。(19日 Le Soleil)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 3日、大統領府において、サル大統領や COVAX ドナー国大使等の関係者列席の下、COVAX ファシリテーターを通じて供与されたアストラゼネカ製ワクチン 342,000 本の授与式が行われた。(4日 Le Soleil)
- 3日、ソンコ Pastef(野党)党首が、無許可でデモを行い公共の秩序を乱した罪で逮捕された。同日、ダカール市内及び地方においてデモが発生し、一部参加者と治安当局との衝突、政府機関、報道機関、仏系スーパーやガソリンスタンドへの襲撃や放火などに発展した。(3~5日 RFI)
- 8日、サル大統領が国民向けに演説を行い、夜間外出禁止令時間帯の短縮、デモの犠牲者の家族及び負傷者への補償、若者支援のための予算再分配などの約束を表明し、デモで暴力行為を行なっている若者に鎮静化を呼びかけた。セネガル赤十字は、これまでに計 6 名がデモによって死亡、計 590 名が負傷したと発表した。(9日 Le Soleil)
- 10日、サル大統領は閣議で、保健衛生上の危機宣言が19日24時で終了すること、2021年~2023年に 3,500 億 FCFA の予算を若者や女性の支援に充てることなどを発表した。(11日 Le Soleil)
- 16日、カメルーン、モロッコ、ガボン、マレーシアの駐セネガル大使がコロナワクチン接種を受けた。外務省によると、他国の外交団への接種も今後行われる。(18日 Le Soleil)
- 保健省研究部門のコル博士は Le Soleil 紙のインタビューで、セネガルでこれまでに確認されたコロナワクチン接種後の副作用は想定範囲内で重大な被害はなく、接種の体制を変える必要はないと述べたほか、中国製ワクチンを希望する者もいるが同ワクチンの在庫は僅少であり、現在接種可能なのはアストラゼネカ社製のみであると述べた。(20・21日 Le Soleil)
- 25日、サル大統領は UEMOA 首脳会談で、セネガルが390万本の Johnson&Johnson 社製コロナワクチンを発注したことを発表した。(27・28日 Le Soleil)

(外政)

二国間関連

- 11~12日、サル大統領は、プライベートでセネガルを訪れたバロウ・ガンビア大統領(11日)およびエンバロ・ギニアビサウ大統領(12日)と、それぞれ会談を行った。(11日・12日 大統領府 Facebook)
- インドはセネガルに 25,000 本のアストラゼネカ製コロナワクチンを供与した。受領式でサル保健大臣は、ワクチン接種は順調に進んでおり、既に約8万人が接種を受けたと述べた。(13・14日 Le Soleil)
- 駐セネガル米国大使が出演したラジオ番組によると、2019年に米国がセネガル人に対して発給した査証の数は約6千件にのぼる(内、3千件は米国への移住者用で、279件は学生用)。年間の査証申請の認可率は44%。USAID はサンルイ州において、特に保健と農業分野に注力している。米国はまた、ガストンベルジェ・サンルイ大学に、学生が米国人と対話し、米国に関する資料を閲覧できるスペースを設置予定である。(16日 Sud Quotidien)
- 駐ガンビア・セネガル大使によると、14日夜、ガンビアのサンヤンでセネガル人がガンビア人を殺害したことが原因でデモが発生し、交番や、同地域在住のセネガル人所有の住居、商店、船などへの放火・襲撃に発展。警察が介入し、280名の同地域在住のセネガル人が他地域に避難した。(16日 Sud Quotidien)
- 19日、サル大統領は、セネガルを表敬訪問中のマダビオ・シエラレオネ大統領と面談。ミレニアムチャ

- レンジコーポレーション(MCC)の枠組み内での経験共有などについて協議した。(20・21日 Le Soleil)
- サウジアラビアはセネガルのコロナ対策支援のため、100万ドルを供与した。(22日 Le Soleil)
- ドイツはセネガルにおける雇用促進のため、公共および民間の機関に対して一事業あたり最大1000万ユーロを融資する投資プロジェクトを開始した。(26日 Le Soleil)
- Kavas 駐セネガルトルコ大使は、現在トルコに留学中のアフリカ出身学生2千名のうち、セネガル人はわずかに300名であると述べ、今後奨学生の数を増やすことや、両国の研究機関の協力促進に注力することを表明した。(31日 Le Soleil)

国際情勢・国連機関支援等

- マネーロンダリングに関する金融活動作業部会(GAFI)は、セネガルを含む4か国を、資金洗浄やテロ組織への融資に関する規制が不十分であるとしてグレーリストに追加した。(1日 L' Observateur)
- 20日、アマドゥ・マタール・ンボウ前ユネスコ事務局長の生誕100年記念イベントの開会式が行われ、サル大統領やアズレーユネスコ事務局長が祝福のビデオメッセージを寄せた。(22日 Le Soleil)
- 米国のシンクタンク Freedom house が発表した世界各国の自由に関するランキングにおいて、セネガルはアフリカで上位10位に入っていた2017年から順位を落とし、「自由」から「部分的に自由」へと評価が下げられた。(23日 Le Quotidien)
- 22日、サル大統領は、ラクロワ国連平和維持活動担当事務次長と面談した。後者はセネガルによる国連支援への謝意を述べると共に、中央アフリカおよびサヘルでのミッションの強化を要請した。(23日 Le Soleil)
- セネガルとモーリタニア政府は、両国の国境に位置するロツソに両国を結ぶ橋を建設する事業の署名を行った。同事業はアフリカ開発銀行、EU、セネガルおよびモーリタニア政府による共同出資で、2023年12月に竣工予定である。(26日 Le Soleil)

日本関連

- ソワ・セネガル川デルタ地帯・セネガル川ファレメ川流域整備開発公社(SAED)社長は、日本が約480億 FCFA を出資し同公社が実施機関となる稲作事業について、事業目標は灌漑設備の整備・拡張や生産者の能力向上を通じて、ダガナ県とポドール県における食料供給の安定に貢献することであると説明した。(11日 Sud Quotidien)
- アフリカ開発銀行は、同行の戸田敦子農業金融・地域開発局長を、16日付で副総裁代行(農業、人材及び社会開発担当)に任命した。(18日 Le Soleil)
- 15日、Karmol(商船三井とトルコの Karpowership 社の合併会社)は LNG(液化天然ガス)発電船の試運転をシンガポールで開始した。同船は6月にセネガルで運転開始予定。西アフリカで初の LNG 発電事業である。(23日 Le Soleil)
- 日本はセネガル農業省に、1700万 FCFA 相当の衛生用品を供与した。供与式の際、新井駐セネガル日本大使は、日本はセネガルの食料自給率向上のため2020年に20億 FCFA を超える支援を行ったほか、これまで国北部に集中していた稲作支援を今後、タンバクンダ州、ケドゥク州およびセネガル南部にも拡大すると述べた。(30日 APS)
- セネガルオリンピック委員会によると、サル大統領は東京オリンピックの聖火リレーに特別招待客として参加予定である。(26日 Le Quotidien)

(経済)

経済一般

- 経済省は、2020年のセネガルの経済成長率は1.5%で、セネガル新興計画優先行動計画第2フェーズ改訂版(PAP2A)で予測していた-0.7%を上回ると発表した。(11日 Le Soleil)
- アフリカ開発銀行によると、セネガルの推定経済成長率は、コロナの状況が制御された場合、2021年に5.1%、2022年に6.0%に達する。インフレ率はコロナの影響により、2019年の0.9%から2020年には1.9%に上昇。実質 GDP は、観光業・運輸業・商業などの縮小および、国外需要や投資の減少により、2019年のプラス成長(5.3%)から2020年は0.7%のマイナス成長に転じた。(13日 Le Soleil)
- エア・セネガルは、ダカール発の域内航空交通網の強化の一環で、3月29日より、コトヌー経由ドゥアラおよびリーブルビル行き航空便の運航(週3回)を開始する。(19日 Le Soleil)
- セネガル漁業組合は、セネガルとEU間の漁業に関する協定によってセネガルが得る利益は、政府が国の漁業者に適切な支援を行った場合に得られる利益よりはるかに少ないと主張し、政府に対して同協定の破棄を求めた。(23日 Sud Quotidien)

(社会)

- 8日、カフリン州クングフル市の税関は、776Kgのインド麻(推定額:約1億FCFA)を押収した。麻薬密売対策により、先月からこれまでにジョール市やカオラック市、ニョーロ市でも大量の薬物押収が行われている。(10日 Sud Quotidien)
- 14日、セネガルを代表するアーティストで音楽グループ Raam Daan のリーダーであるチョヌ・バラゴ・セック氏が病気により66才で死去。サル大統領やジョップ文化大臣などの政府関係者やアーティスト等多数が追悼の意を表した。(15日 Le Soleil)
- 対アフリカ投資家フランス協議会(CIAN)が行った2020年~2021年のアフリカにおける外国のイメージ調査において、イメージの良い国は上位から順に米国、ドイツ、カナダ、英国であった。中国(2位→5位)、日本(4位→6位)、フランス(5位→7位)は2018~2019年の調査から順位が下がった。(22日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 11日、新井大使とカルバリョ駐セネガル・カーボベルデ大使との間で、対カーボベルデ債務救済措置に関する署名が行われた。同措置はカーボベルデのコロナ対策への支援として、G20 財務大臣・中央銀行総裁会議およびパリクラブ(主要債権国会合)で合意した債務支払猶予イニシアティブ(DSSI)を受けて実施された。(11日 Infopress)
- 19日、ネーヴィス前首相が、次期大統領選挙への出馬を表明した。同選挙は10月17日に予定されており、ヴェイガ前首相もすでに出馬を表明している。(19日 Anacao)

ガンビア

- EU はガンビアを、EU からの移民の強制送還に非協力的な国であるとして、今夏までに状況が改善されなければ査証の値上げなどの制裁を課すと発表した。2020年11月、EU はガンビアに同制裁につ

いて警告を出したと報じられたが、ガンビア政府はそれ以来いかなる公式発表も行わなかった。(30日 The Point)

ギニアビサウ

- 4日、保健省は、WHO が緊急使用を承認した3社(ファイザー、アストラゼネカ、セラム)のコロナワクチンの国内での使用を承認した。COVAX の枠組みでギニアビサウは、3月にワクチン接種用の注射器24,000本を受領したほか、5月末までにアストラゼネカ社製ワクチン12万本分を受領する見込み。(11日 ACCOVID19)
- 日本は UNDP が実施するギニアビサウの平和維持のための強靱な制度構築計画の支援のため、249万ドルを供与する。(19日 Le Soleil)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)